



広報 さつま

—ひと・まち・自然 みんなで紡ぐ さつま町—

2019

9

No. 174



稚兒抱え 健康願う



8月4日、町夏まつり「熱勝祭」が開催されました。祭りの前半は山車巡行、宮之城中学校吹奏楽部や御神幸、出水市観光牛車などのパレードに続き、あつくりが登場。子どもの頭を噛んで悪を喰い払うことから親子連れが集まり、怖がって泣き叫ぶ子どもたちでひときわにぎわいました。

続いて子ども神輿8台と大人神輿2台が巡行しました。子どもたちは元気な町を練り歩き、大人神輿では八坂神社前の稚児上げで、多くの子どもの健康を祈念しました。会場一杯に広がって踊る手踊りには、町内外から35団体約1,250人が参加。ずらりと並んだ約100基の五ツ太鼓の周りを様々な衣装で踊り歩きました。

2か所設けられたステージは、改元を記念してそれぞれ令和会場、平成会場と命名。各会場では、町内のバンド「姫と家来。」の演奏や子ども祇園踊り、吹奏楽、マジックショー、全日本歌唱力選手権で歌唱王に輝いた盈進小学校の坪田俊一先生の歌謡ショーなど多くのイベントで盛り上りました。

ねぶた運行では、日本特殊陶業株式会社から寄贈された西郷隆盛と勝海舟の江戸城無血開城の様子を描いたねぶたが登場。ハネットの威勢のいい掛け声と、太鼓や笛の音とともにねぶたが動く姿は、たくさんの人々を魅了しました。最後は帝釈天公園から花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩りました。

さつま町夏まつり 熱勝祭

株初穂と立地協定締結 雇用創出と経済発展に期待

7月25日、株式会社初穂と工場増設に伴う立地協定を締結しました。水稻生産や国内産米の精米と販売を行う同社は、飲食業の人手不足や省力化などで近年高まっている無洗米需要への対応を目的に、新たに無洗米製造設備の導入を計画。橋口秀仁北薩地域振興局長立ち合いのもと、建設に向けた取決めを確認しました。新たな雇用の創出と地域経済の発展が期待されます。小濱隆司社長は「農家や北さつま農協と連携して県内の米を無洗米化し、販路を拡大したい」と意欲を述べました。

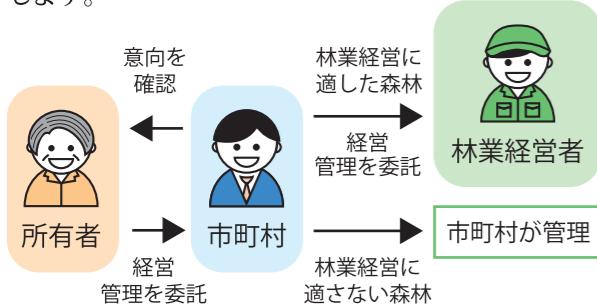


協定を締結した日高町長(左)と小濱社長(中央)、橋口振興局長

森林の適切な管理のために 森林経営管理制度が始まります

森林の適切な経営や管理が行われないと、土砂災害の防止や地球温暖化防止などに影響を及ぼすことが懸念されます。このため、4月から森林経営管理制度が始まり、経営管理が行われていない森林について、市町村が仲介役となり森林所有者と林業経営者を繋ぐシステムを構築し、森林の適切な経営や管理を進めます。

町では経営が行われていない森林（人工林）を調査し、森林所有者へのアンケート調査などを実施します。



■お問い合わせ先

耕地林業課 林業振興係（内線2434）

北薩横断道路の整備促進を要望 国などに対し重要性を説明

8月6日、北薩横断道路の整備促進について国土交通省と財務省へ要望活動を行いました。国土交通省では、藤田耕三事務次官に対し、鹿児島空港から北薩空港道路間と広瀬道路から泊野道路間の早期着手を要望。また、災害時に国が最優先で復旧する重要物流道路への指定も求めました。財務省では中島朗洋主計官に対し、道路関係予算の長期安定的確保と令和2年度予算規模の拡大について要望しました。このほか鹿児島県選出の国会議員に対しても要望活動を行いました。



藤田事務次官に日高町長から要望書が手渡されました

9月15日～21日：認知症を理解し一緒に歩む県民週間

認知症について正しく理解していますか？

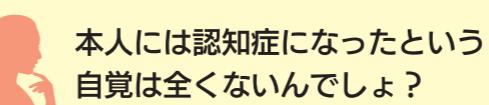
認知症の方が暮らしやすい町にするために 1人でも多くの方に正しく理解していただく必要があります

認知症は身近な病気

脳は人間の活動をコントロールしている司令塔です。認知症は、脳の細胞が死んでしまうなどして脳の働きに不都合が生じ、様々な障害が起こり生活するうえで支障が継続している状態のことと言います。

2025年には高齢者の5人に1人が認知症になるとされています。自分や家族、友人や知人など誰でも認知症になる可能性があり、他人事ではありません。認知症は「自分の問題である」という認識を持ちましょう。

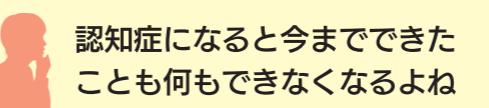
こんな勘違いしていませんか？



本人には認知症になったという自覚は全くないんじょ？

一番に気付くのは本人です

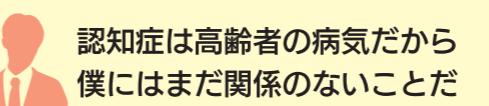
「何かがおかしい」ということは本人が一番分かっています。



認知症になると今までできたことも何もできなくなるよね

認知症になつてもできることがあります

長年してきたグラウンドゴルフやお裁縫などが得意な方、何十年も前の事を覚えている方などたくさんいます。



認知症は高齢者の病気だから僕にはまだ関係のないことだ

若くして発症する若年性認知症があります

若年性認知症になつても仕事を続けていける方もいます。そのためには周囲の理解と助けが必要です。

認知症の方にもやさしいまちへ

認知症の方が「その人らしく」生活を続けるには周囲のサポートが必要ですが、家族だけでサポートすることはとても大変なことです。町ぐるみで認知症の方にやさしいまちにしていきましょう。

■認知症センター

認知症センターは、認知症を正しく理解し日常生活や地域、職場で認知症の方やその家族を温かく見守る人です。町内には2,518人の認知症センターがいます。町地域包括支援センターでは、出前講座で認知症センターの養成講座を行っています。受講時間は1時間から1時間半程度。認知症の症状や予防、接するときの心構えなどについて学ぶことができ、修了者にはセンターの証としてオレンジリングが渡されます。



■SOSネットワーク

SOSネットワークは、登録済みの認知症の方が行方不明になったときに、行方不明情報を協力者にメール配信して検索を行う仕組みです。地域ぐるみで検索することで、早期発見・保護に繋がります。QRコードを読み取ると、協力者として登録できます。



■お問い合わせ先

- 高齢者支援課 高齢者支援係（内線2172）
- 地域包括支援センター ☎52-4690

開催案内

認知症を理解し 一緒に歩む県民週間 講演会

【日 時】9月16日（月）
午後1時30分～午後4時

【場 所】風テラスあくね
(阿久根市塩鶴町2丁目2番地)

【内 容】認知症落語を交えた講演、
当事者からの想い発表 など

【申込先】川薩保健所 ☎0996-23-3165
※事前申込みが必要です

県 民体育大会にご声援を

第73回県民体育大会が県内の各会場で開催され、本町からは99人が川薩地区代表の選手や監督として出場する予定です。また、本町ではラグビーフットボールが9月21日、22日にかぐや姫グラウンドで開催されます。皆さまの応援をお願いします。

■競技日程・会場（本町からの出場関係分）

【9月15日】

- ・剣道…いちき串木野市総合体育館

【9月21日】

- ・ゴルフ…霧島ゴルフクラブ
- ・陸上競技…県立鴨池陸上競技場

【9月22日】

- ・銃剣道…溝辺体育館
- ・カヌー…伊佐市菱刈カヌー競技場
- ・ボート…輝北ダム特設ボートコース
- ・ホッケー…樋脇屋外人工芝競技場
- ・少林寺拳法…県総合体育センター柔道場
- ・クレー射撃…南日本総合クレー射撃場

【9月21日・22日】

- ・卓球…松元平野岡体育館
- ・サッカー…県立サッカー・ラグビー場
- ・バレー・ボール…開聞総合体育館
- ・ソフトテニス…鹿児島市東開庭球場
- ・バドミントン…指宿総合体育館
- ・バスケットボール…蒲生体育館、蒲生中学校体育館

【10月13日】

- ・水泳…鴨池公園水泳プール



道 の日に道路をキレイに

8月10日の「道の日」にあわせ、町内各所の町道などで清掃作業を実施しました。道の日は、道路の重要性や正しい利用などについて、関心と理解を深めることを目的としています。当日は、町建友会会員や町議会議員、町職員など約150人が参加。道路沿いの除草・伐採などを行い、通勤や通学などで利用される町道の見通しが良くなり、安全できれいな道路になりました。



道路に感謝の気持ちを込めて清掃しました

生 物観察で川内川を知る



川にはどんな生き物がすんでいるのかな？

7月28日、大鶴湖の水環境に係る関係者会議主催の大鶴湖水環境改善キャンペーンin川内川が、宮之城屋地の川原地区の河川敷で開催されました。未来を担う子どもたちに大鶴湖や川内川の水環境について関心を持ってもらおうと開催されたもので、今回が4回目。小学生や保護者など26人が参加しました。子どもたちは、網の中に目をこらしたり、川底の石を拾い上げて裏まで見たりして、生き物を探索。見つけた生き物を観察・分類し、川の水質を調べました。ほかにも、牛乳を使って生活排水が水質に与える影響について学習し、きれいな川を守ることの大切さを学びました。

また午後からは、川原町公民会とNPO法人ひっ翔べ！奥さつま探険隊主催の第16回川原さかなつかみ取り大会も開催されました。子どもたちは、ウナギやニジマスを必死に捕まえようと、目を輝かせていました。

新 規認定農業者の紹介

6月20日、2経営体が認定農業者に認定され、農業経営改善計画認定書の交付が行われました。



二毛作による自給飼料の確保を図りながら、作業の共同化、受託事業により地域経営の維持に貢献したい。



主要品目の規模拡大と併せて、作型分散と労力分散で生産の安定化を図り、出荷を増やし所得向上を目指したい。

肝付 兼久さん（中津川）
経営作目：水稻+露地野菜
平木場 達郎さん（求名）
経営作目：生産牛+水稻

宮 之城野球スポーツ少年団が全国へ

7月28日、宮之城野球スポーツ少年団が和歌山県で開催された第24回高野山旗全国学童軟式野球大会に県代表として出場しました。同団は、3月の地区予選と5月の県大会を経て出場権を獲得。全国から52チームが集まる中、初戦は和歌山県代表との接戦に勝利しましたが、2回戦で北海道代表に僅差で敗れました。キャプテンの八木輝汰さんは「優勝には届かなかったけど、まずは一勝するというチームの目標を達成できただけで、うれしかったです。今後も一勝一勝を積み重ねていきたいです」と話してくれました。



全国大会で貴重な経験を積んだ宮之城野球スポーツ少年団

小 学校水泳記録会で力泳

7月23日、宮之城屋地の温泉プールで第14回町小学校水泳記録会が開催され、町内の小学5・6年生150人が出場しました。

選手たちは友達や保護者からのたくさんの声援を受けながら、これまでの練習の成果を発揮すべく懸命に泳ぎました。各種目の1位と大会新記録は次のとおりです。（敬称略）

【5年男子個人】

■50m自由形…………39秒5

小田 悠太郎（盈進）

■50m平泳ぎ…………49秒8

福山 恵都（求名）新

■50m背泳ぎ…………54秒0

西 紀行（柏原）

【5年女子個人】

■50m自由形…………45秒2

新屋敷 佑月（佐志）

■50m平泳ぎ…………57秒6

新屋敷 佑月（佐志）

■50m背泳ぎ…………1分06秒6

市山 希音（流水）

【6年男子個人】

■50m自由形…………33秒8

太刀鉢 竜星（盈進）

■50m平泳ぎ…………51秒0

宇都 凌佑（山崎）

■50m背泳ぎ…………53秒9

舟倉 歩（柏原）

【6年女子個人】

■100m自由形 ……1分37秒8

段原 太貴（山崎）

■100m平泳ぎ ……1分55秒4

上野 聖翔（佐志）

舟倉 歩（柏原）

日本の正しい交通ルールを伝え、安全を呼びかけました



ベトナム人向け交通教室開催

ベトナム人向けの交通教室が、7月17日に株式会社アクシズの宮之城工場で、24日に薩摩工場で開催され、約200人のベトナム人従業員が受講しました。町の交通安全専門指導員が、ベトナム人通訳を介して、信号の見方や標識の意味、正しい横断の仕方などを説明しました。また、従業員の多くが自転車を主な移動手段としているため、プロジェクトーや小道具を使って自転車の走行の仕方を指導しました。参加者は指導員の説明にうなづいたり、返答したりしながら、真剣に耳を傾けていました。

少しでもタイムを縮めようと懸命に泳ぎました



【6年女子個人】

■50m自由形…………36秒3

前田 美沙（佐志）

■50m平泳ぎ…………49秒3

前田 美沙（佐志）

■50m背泳ぎ…………46秒0

倉富 心那（盈進）

■50mバタフライ……42秒5

倉富 心那（盈進）

■100m自由形 ……1分31秒5

本砥 結依（佐志）

■100m平泳ぎ ……1分51秒0

本砥 結依（佐志）

【5・6年共通 200mリレー】

■男子メドレー…3分12秒3

盈：阿久根行和・太刀鉢竜星

五反田悠樹・小田悠太郎

■女子メドレー…3分11秒0

盈：倉富心那・原田梨央

松下遙香・重森瞳

■男子フリー……2分48秒7

盈：阿久根行和・太刀鉢竜星

小田悠太郎・市来琉晟

■女子フリー……2分43秒8

盈：倉富心那・原田梨央

松下遙香・重森瞳

人 権啓発フェスティバル

8月22日、第15回町人権啓発フェスティバルが宮之城文化センターで開催され、約700人が参加しました。町民一人一人がお互いの人権を尊重し、偏見のない社会の実現に向け毎年8月に開催しています。オープニングでは、しひこども園の園児11人が和太鼓による力強い演奏を2曲披露。小中高生の代表4人は、人権に対する正しい知識とお互いを尊重し合う心の大切さを喚起させるすばらしい人権作文を発表しました。



①子どもの意見を尊重することの大切さを訴える菊地弁護士
②しひこども園の園児がやなせ太鼓を力強く披露
③作品や活動の展示が訪れた人に人権問題を考えさせます



弁護士の菊地幸夫さんによる「出会いの人生から学んだこと」と題した講演では、弁護士業務の傍ら小学校のバレーボールチームの監督を務めるなかで感じたことを発表。子どもに対して暴言や暴力ではなく、相手を尊重し思いやり、意見を聞いて同じ立場で向き合うことの大切さをユーモアを交えながら話されました。

そのほか、小中学生の習字や生涯学習講座生によるパッチワークなどの作品展示、福祉施設の作品展示と物品販売などが行われました。

鶴 思い出を刻んだ学び舎が一日限りの復活 田中でキャンパスオープン

8月10日、閉校した鶴田中学校でキャンパスオープンが開催されました。閉校する際に理科を教えていた立岡弘明教諭が、校舎が無くなる前にもう一度授業を行おうと当時の先生に提案し実現。学び舎の姿を再び見ようと卒業生など約150人が参加し、数学、英語、理科、体育、音楽の授業を受けました。部活動として野球やソフトテニスなども行われ、仲間と汗を流した日々を再現。卒業生で高校3年の鉢迫佳依さんは「中学校で過ごした色々な時間と思い出しました」と懐かしかった様子でした。



音楽の授業では校歌が再び音楽室に響き渡りました



町 内各地でスポーツ合宿

夏休み期間中、スポーツ合宿が町内各地で行われ、県内外から多くの選手やスタッフが本町を訪れました。30年以上続く高校ラグビー合宿は、8月8日から14日までかぐや姫グラウンドで行われました。毎年強豪校が集まり、良質な天然芝のグラウンドで練習試合やレフリーの講習会を行い、スキルアップに努めています。また、高校男子バレーは8月9日から12日まで県内外の18校が、中学女子バレーは8月22日から24日まで28校が参加し宮之城総合体育館などで練習を行いました。

緑 緑に親しみ守り育てる の少年団が活動発表

8月3日、鹿児島県緑の少年団活動発表大会が霧島市で開催されました。県内の13団が集まり、本町からは佐志小学校と永野小学校が参加しました。活動発表では、永野緑の少年団が高性能林業機械について学んだことや、自分たちで育てた花の苗をイベントでプレゼントしたこと、苗木の植栽や木工創作の体験活動などについて感想を混じながら発表。審査の結果、永野緑の少年団は最優秀賞に選ばれ、来年度開催される全国緑の少年団活動発表大会に推薦されることが決まりました。



活動発表で最優秀賞に輝いた永野緑の少年団

事故を起こさないためにできることを学びました



踏 日頃の運転を振り返る み間違い事故ゼロを願って

7月29日、宮之城自動車学校でさつま警察署主催の踏み間違い事故防止講習が行われました。高齢ドライバー約30人が参加し、全国で多発するペダル踏み間違い事故の現状や原因、防止策について説明を受けました。また、踏み込むとブレーキ、足を横に傾けるとアクセルになる仕組みの一体型ペダルの体験も実施。参加者からは「高齢ドライバーによる事故のニュースが多い気にはなっていた」「普段から気を引き締めて運転しようと思った」などの感想がありました。

参加者たちは自己新記録を目指して力走



第 町内外から延べ196人が参加 9回ナイター陸上記録会

8月17日、町陸上競技協会主催のナイター陸上記録会が宮之城運動公園で開催されました。各種目の1位は次のとおりです。(敬称略)

■ 幼児男子60m 12秒1 増穂 康平 新	■ 小5男子100m 16秒3 戸田 健太郎
■ 幼児女子60m 13秒4 東條 琴羽 新	■ 小5女子100m 16秒1 中山 綾音
■ 一般男子60m 9秒1 段 真一 新	■ 小6男子100m 15秒2 西谷 陽太
■ 小1男子100m 20秒6 白石 悠真	■ 小6女子100m 15秒5 前田 美沙
■ 小1女子100m 20秒7 松元 彩笑	■ 中1男子100m 13秒2 長松院 寛太 新
■ 小2男子100m 17秒7 池山 順佑	■ 中1女子100m 15秒4 下市 弥羽
■ 小2女子100m 19秒1 有馬 伶菜	■ 中2男子100m 12秒9 市来 智大
■ 小3男子100m 17秒5 今村 春希	■ 中2女子100m 14秒0 中須 愛麻
■ 小3女子100m 17秒4 田端 珠羽	■ 中3男子100m 14秒3 宮之下 天麻
■ 小4男子100m 16秒3 上野 龍道	■ 中3女子100m 15秒2 酒匂 こころ
■ 小4女子100m 17秒8 中村 真由	■ 一般男子100m 12秒7 藤田 貴登 新
■ 小6男子800m 2分37秒 東條 潘 新	
■ 小1男子800m 4分02秒 河野 凰冴 新	
■ 小6女子800m 2分45秒 重森 瞳 新	
■ 中1男子2000m 7分08秒 原 幸士朗	
■ 中1女子2000m 7分50秒 上川畠 未来	
■ 中2男子2000m 6分50秒 重森 朝陽	
■ 中2女子2000m 7分22秒 西田 天迦	
■ 中3男子2000m 6分29秒 下市 聖凪	
■ 中3女子2000m 7分00秒 沖田 萌々 新	
■ 一般男子3000m 9分59秒 酒匂 雄大	

質の良い睡眠で 体と心を元気にしましょう

毎日充分な睡眠がどれ

ていますか？睡眠は心身の疲れをとるために欠かせません。

良い睡眠には情緒の安

定やストレスの軽減、生活習慣病予防などの効果があり、体と心のエネルギーを作り出します。そのためには、必要以上に長時間眠ることよりも、質の良い睡眠をとることが大切です。



良い睡眠には情緒の安定やストレスの軽減、生活習慣病予防などの効果があり、体と心のエネルギーを作り出します。そのためには、必要以上に長時間眠ることよりも、質の良い睡眠をとることが大切です。

【良い睡眠のサイン】

- ・夜中はぐっすり眠れる。
- ・昼間に眠くなることがない。
- ・スッキリ気持ちよく目覚める。
- ・寝床についてから15分以内に眠れる。
- ・前日の疲れが残っていない。
- ・朝食はしっかりと、夕食は腹八分目。
- ・昼寝は決まった時刻に20～30分。
- ・寝る前は多量の飲酒や喫煙、カフェインを控える。
- ・パソコンやスマートフォンなどは、寝る3時間前にはやめる。
- ・寝る1～2時間前に、入浴などで体温を温める。

【そんなときには】

【話す】

- ①信頼できる人に話をする
聴いてもらうだけでもほっとします。

【相談機関を利用する】

- ②相談機関を利用する
話せる人がいない・知られたくないとき、電話やメールをしてください。

【SNSを使って気持ちを伝える】

- ③SNSを使って気持ちを伝える
いつでも気軽に利用できます。

【休む】

- ①何もしない時間を作る
忙しいとき、考えが多いときほど何もしない時間も必要です。

【運動する】

- ②眠れるときに眠る
夜間に眠れなかつたときは日中に寝ても構いません。ただし、午後に寝る場合は20分程度にしましょう。
- 軽い運動をすることで、セロトニンという脳内物質が分泌されて、イライラや不安感が減少するといわれています。

気軽にご相談ください

* 11JINの健康相談統一ダイヤル…有料

0570 (064) 556

鹿児島県では鹿児島県精神保健福祉センターに接続されます。

受付時間：平日9時～16時30分

* よりそいホットライン……無料

0120 (279) 338

一般的な生活上の悩みをはじめ、生

活困窮者などに対する総合的な電話

窓口です。24時間対応。

* ここでの健康相談……無料面談

毎月第一木曜日に、宮之城ひまわり館で開催しています。予約制です。

* 支援情報検索サイト

電話、メール、SNSなど様々な方

法の相談窓口を紹介しています。

9月11日夕方に、プラッセだいわ宮

之城店とAコープさつま店で啓発グッズを配布します。また、町内の様々な場所に相談リーフレットを設置しています。どうぞご利用ください。

9月10日から16日は

自殺予防週間です



お便り 募集中



今月の読者プレゼント

町の農産物でできた

無添加 ドレッシング



2本セット

※種類は選べません。

燃ゆる感動 かごしま国体
第75回国民体育大会 第20回全国障害者スポーツ大会 2020年10月3日～10月13日

燃ゆる感動 かごしま大会
第20回全国障害者スポーツ大会 2020年10月24日～10月26日

さつま町ではラグビーフットボール（少年男子）を開催！
2020年10月4日～8日
・北薩広域公園運動広場
・かぐや姫グラウンド

表紙の写真説明



8月4日に開催された町夏祭りでの一幕。八坂神社前で行われた稚児上げは、子どもの健康を願い、届強な担ぎ手たちが「ソイヤッ！ソイヤッ！」と威勢の良い掛け声を上げます。迫力ある声とは対照的に、稚児たちのキヨトンとした表情がとても愛らしかったです。（愛甲）

広告

出水法律事務所

弁護士 米田圭吾（鹿児島県弁護士会所属）

鹿児島県出水市昭和町3-24

0996-79-3535

月曜日～金曜日 午前9時30分～午後5時まで

相続、離婚、借金、労働、交通事故、その他幅広い分野を取り扱っております。お困りのことについて、お気軽にご相談ください。まずは、お電話でご予約ください。

初回の相談料は
1時間まで無料です

8月子牛せり市結果 期日：8月5日(月)～6日(火)

(消費税抜き、売却分) 単位：頭・円・kg

性別	頭数	総売上高	最高価格	平均価格	平均体重	前回比(対7月分)
めす	223	175,064,000	1,372,000	785,040	287	20,036円高値
去勢	300	236,933,000	1,203,000	789,777	313	36,657円安値
合計	523	411,997,000	1,372,000	787,757	302	13,449円安値





子どもたちが作ったさつま町の魅力あふれるカルタ

さつまカルタ

6/44枚

中津川区公民館長
丸口 憲一さん

金吾様踊りは大石神社の秋季大祭で披露される奉納踊りです。中津川地区では400年の伝統を伝える踊りを中心とした村づくりを行っています。3年ぶりの開催に向け、保存会や公民会などが練習に励んでいます。特に今年は64年ぶりの復活となる「棒打ち舞」が披露されます。9月29日は大石神社へぜひお越しください。当日は中津川交流館から送迎バスが巡回します。

竹紙を使用しています
(竹パルプ10%配合)

[発行]

さつま町役場 企画政策課
〒8951-1803 鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地1565-2
メールアドレス ki-koho@satsuma-net.jp

休日在宅医 / 当番薬局

9月

薩摩郡医師会病院 ☎53-0326	8日	青空薬局 ☎52-0101
さくらクリニック ☎53-1451	15日	かぐや姫薬局 ☎29-3301
稻津病院 ☎52-3355	16日	やまだ薬局 ☎52-4585
海江田医院 ☎53-0006	22日	タバタ薬局 ☎21-3344
鬼丸整形外科 ☎56-8811	23日	m y 薬局さつま ☎29-3100
溝口整形外科 ☎52-4668	29日	ヘルシー薬局 ☎21-3739

10月

クオリハビリテーション病院 ☎53-1704	6日	m y 薬局さつま ☎29-3100
------------------------	-----------	--------------------

*都合により変更になる場合があります。受診の際は事前に電話で確認してください。

人口のうごき

令和元年8月1日現在（前月比）

人口	20,729人	(- 5)
男	9,637人	(増減なし)
女	11,092人	(- 5)
世帯数	9,442世帯	(- 2)

コミュニティバス

— 臨時便の運行日 —

9月：ありません

10月：ありません

※臨時便運行日は夕方2便運休

〔問〕企画政策課 地域振興係

